

HULFT10 API Gateway 製品紹介資料

2025年11月版

株式会社セゾンテクノロジー

目次

■ 製品概要

- HULFT10 API Gatewayとは
- HULFT10 API Gatewayの特長
- ユースケース
- HULFT Managerとの違い

■ 機能詳細

■ ユースケース

- HULFT × HULFT10 API Gateway
- 課題別

■ 動作環境 / 管理保証

- 動作環境
- HULFT10 管理保証

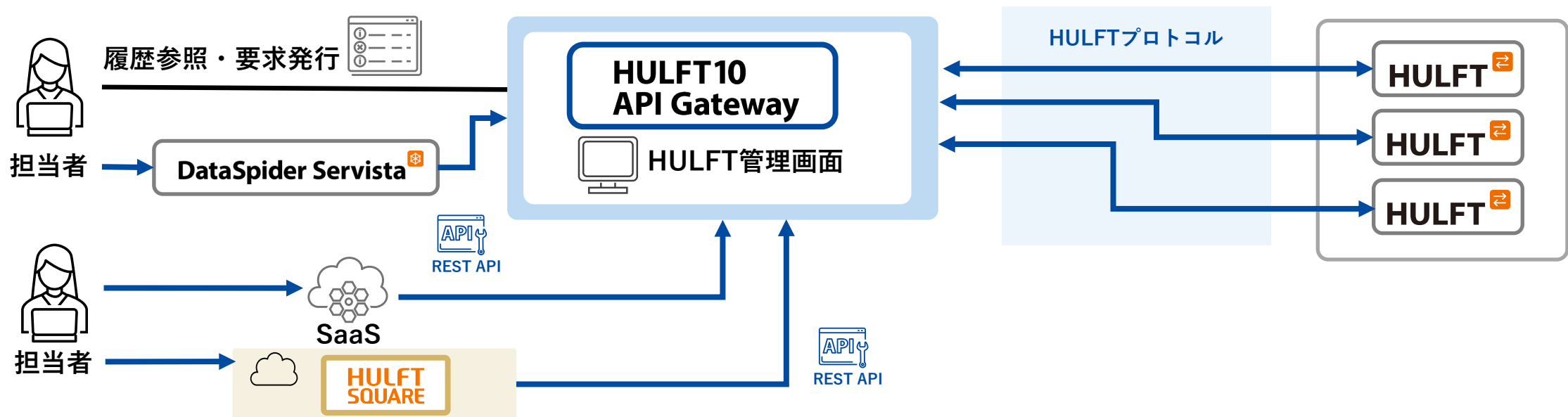
■ Appendix

- HULFT Managerとの機能比較
- 移行について

製品概要

HULFT10 API Gatewayとは

- Web画面やREST APIにて、複数HULFTの統合管理をするミドルウェアです。
管理画面から複数HULFTの管理情報や集配信履歴を管理します。



外部
連携

Web管理画面によるHULFT統合管理

✓ 複数HULFTの設定値設定や確認を集約

操作性

REST API機能

✓ 管理対象HULFTの設定情報を制御

HULFT10 API Gatewayの特長

● HULFT10 API Gatewayは、REST APIと画面操作でHULFT管理を効率的に運用します。

特長 01

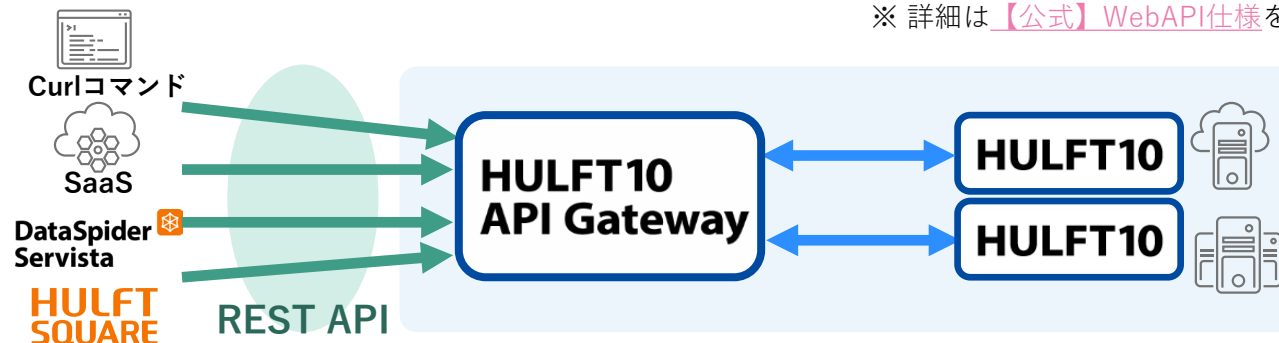
REST APIによる統合管理



HULFT10 API Gatewayを介することで、異なるプラットフォーム上のHULFTを操作・管理。



クラウドサービスや業務ツールなど、
様々なシステムからHULFTをAPI操作可能。
お客様の業務システムに応じた
データ連携の組み込みや自動化を可能に。



特長 02

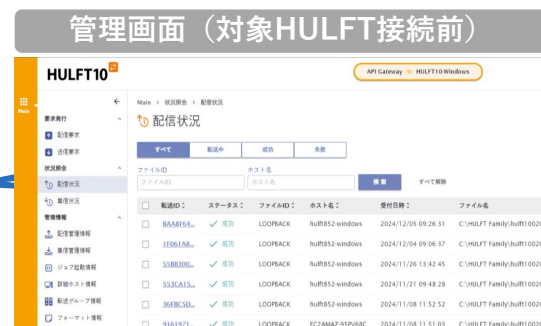
画面操作による一元管理



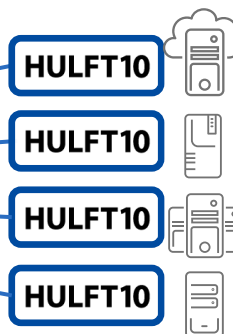
Web画面から複数のHULFTを一元的に管理でき、学習コストを抑えた運用の標準化に貢献。



HULFT10
API Gateway



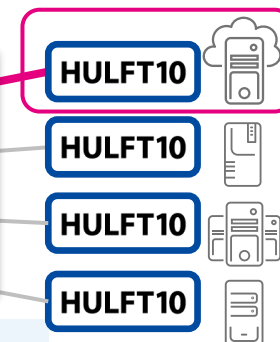
複数のHULFTをWeb画面から一元的に操作可能。
プラットフォームの差異を感じない操作性で運用効率Up。



HULFT10
API Gateway

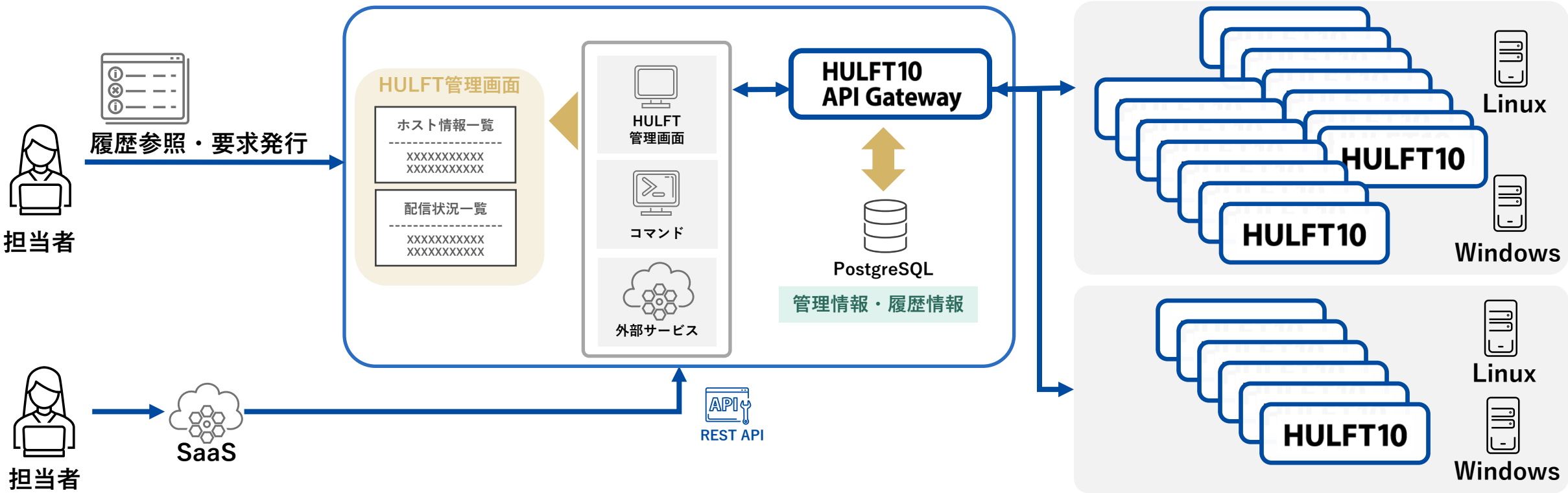


管理画面から、特定HULFTの転送状況を確認可能。
異常発生の情報追跡と原因特定の対処を迅速にします。



ユースケース（HULFT10 API Gateway）

■ ブラウザを利用し、HULFTの管理（管理情報の管理、履歴参照、要求発行）が可能



課題

- ✓ 異なる稼働環境のHULFTの個別管理には、それぞれのHULFTでの操作が必要となり運用負担が大きい。
- ✓ HULFTの個別設定までの技術習得には少なからず時間が必要となる。

解決

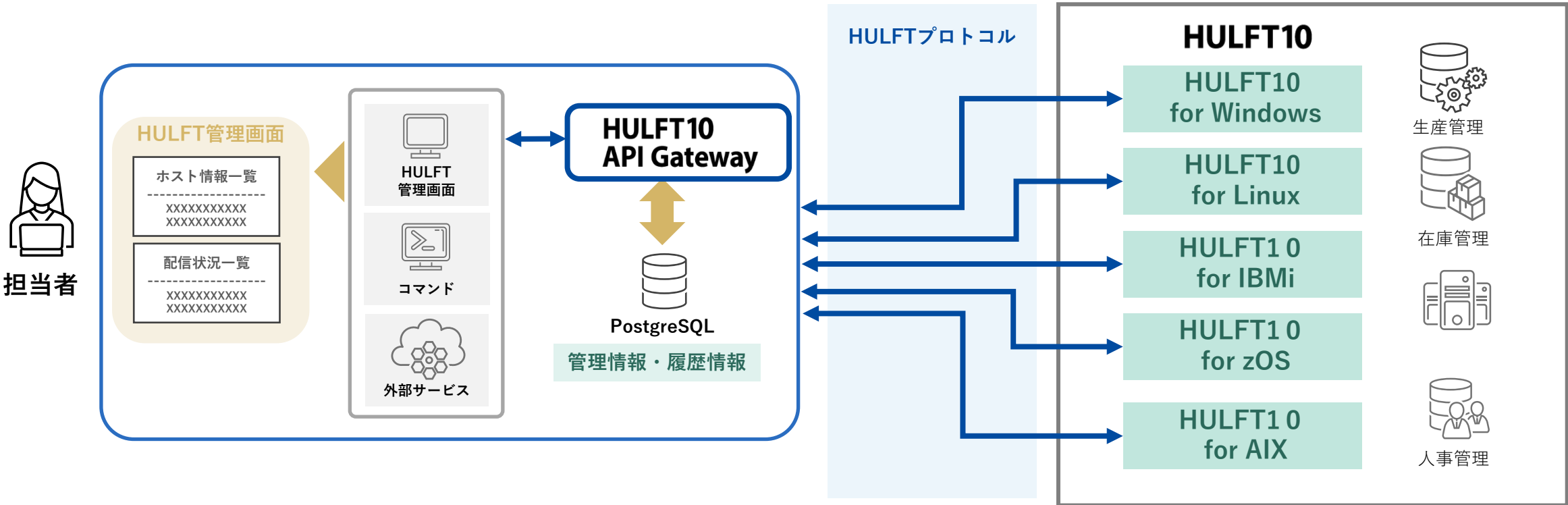
- ✓ Webブラウザ経由で異なる稼働環境の複数HULFTを統合的に管理でき運用負荷が大幅に軽減される。
- ✓ 複数HULFTの設定登録・参照などの統括管理用のAPI提供により一般的な技術者が即時利用できる。

HULFT Manager との違い

ここが違う！棲み分けポイント！

IT技術者の不足問題

- ✓ データ連携APIが提供されるため、**IT技術者の確保**が容易であり、データ連携処理の構築をスピーディに実現
- ✓ データ源泉側のHULFT技術者はそのままに、管理側ではAPIを用いた統合管理を実現



機能詳細

Web画面（1/2）

■ ホスト管理画面

複数のHULFTからの情報を1画面で管理することができます。

HULFT10 API Gateway

?

Main

Settings

転送状況の確認

転送モニター

ホストの管理

すべてのホスト

ホストを登録

フォルダー

ラベル

国内

すべてのホスト

ホスト名で検索

すべて解除

+ 登録

接続テスト

☐	ホスト	フォルダー	登録日	最終アクセス日	状態	操作
☐	localhost		2025/05/13	2025/09/17	—	編集
☐	HULFT10		2025/05/13	2025/09/17	—	編集
☐	東京		2025/05/13	2025/05/13	—	編集
☐	大阪		2025/05/13	2025/05/13	—	編集
☐	上海		2025/05/13	2025/05/13	—	編集

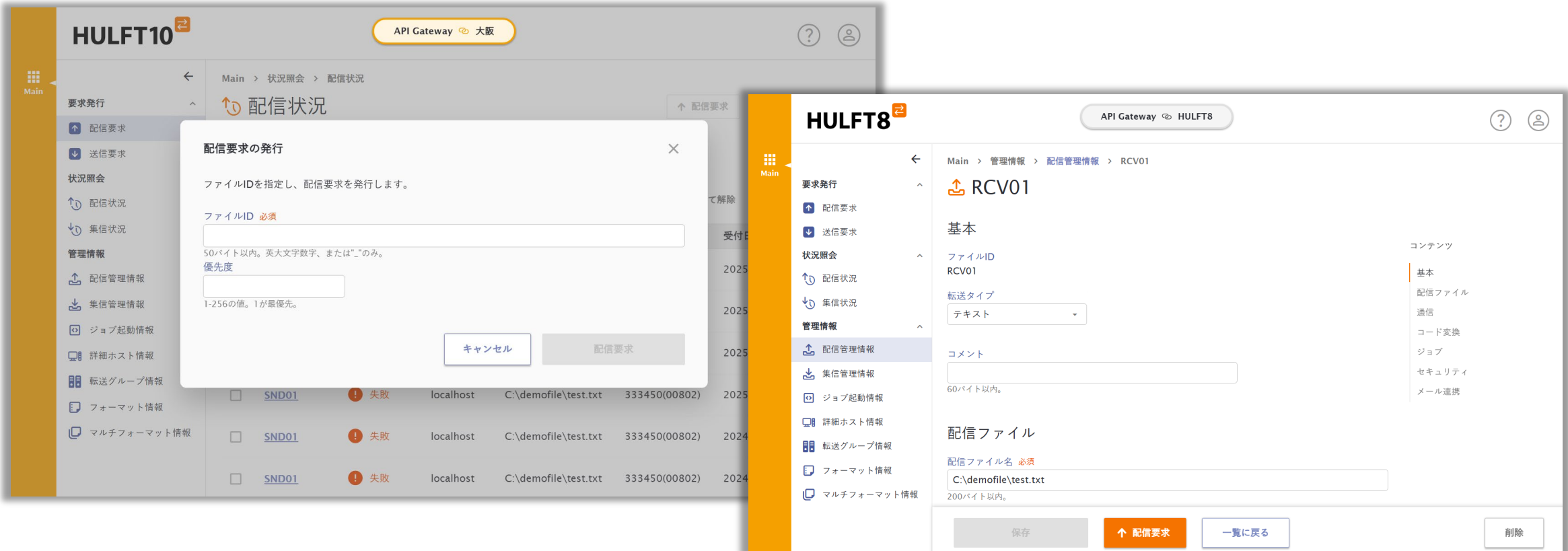
Point

ブラウザ経由で複数HULFTの設定が可能のため、運用・管理の利便性や**利用範囲の拡大**が可能になります。

Web画面 (2/2)

■ HULFT管理画面

特定のHULFTへ接続し、管理情報や要求発行などをWeb画面で操作が可能です。



Point

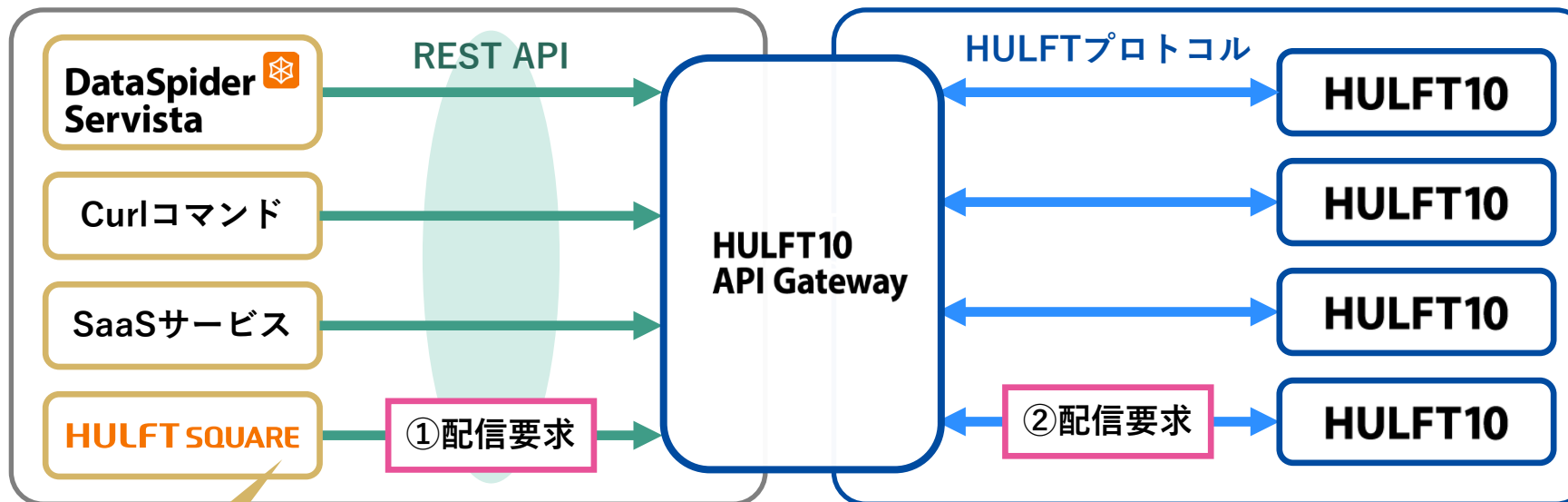
管理対象となる複数HULFTに対して、各種設定等を同一のUIで操作・設定が可能のため、**学習・運用コストを削減。**

REST API

単一 / 複数のHULFTをAPIで、管理・操作※することが可能です。

社外システム

社内システム



WebAPI

接続したHULFTの各種管理情報の登録や履歴情報の取得など

詳細は【公式】WebAPI仕様をご参照

HULFT Square による管理

REST APIを使用することでHULFT Square からAPI Gatewayを介して、各ホストに導入されている**HULFTの集中管理**や操作が可能に。これにより、さまざまなシステムやサービスの統合というHULFT Squareの強みを生かした**データ利用の促進**を実現。

Point

HULFT Square やDataSpider Servista、SaaSサービスやCurlコマンドでのHULFTの**管理・運用の自動化**に貢献します。

権限管理

各ユーザーには「ユーザーの権限」の権限設定があり、Manager API実行時には各APIが求める権限を実行ユーザが持っているかの確認を行います。

The screenshot shows a user management page for 'furukawa'. It includes a profile section with 'admin' as the user ID, a 'パスワードを更新' (Update Password) button, and a '権限' (Permissions) section. The '権限' section has a dropdown menu currently showing '管理者' (Administrator) with a list of options: '管理者' (Administrator), '管理者' (Administrator), and 'メンバー' (Member). A callout box titled 'ユーザーの権限' (User Permissions) provides a detailed view of this dropdown, showing the same three options. A '削除' (Delete) button is located at the bottom right of the permissions section.

ユーザー種別

- **管理者**
メンバーとホスト一覧を管理
- **メンバー**
登録済のホストに接続してHULFTを操作

Point

各ユーザー毎に適切な実行権限を付与することで、**情報漏洩リスクの低減**や、**コンプライアンスの強化**を実現します。

ホストにラベルを設定することが可能です。

The screenshot displays the HULFT10 API Gateway management interface. On the left, a sidebar contains navigation options: Main, Settings, Host Management (Hosts, Add Host, Folders), and Labels (Domestic, Overseas, Test, Edit Label). The 'Edit Label' option is highlighted with a blue box and an arrow pointing to a modal window titled 'ラベルの編集' (Edit Label). The modal shows a list of labels: '国内' (Domestic) with an orange dot, '海外' (Overseas) with a green dot, and 'テスト' (Test) with a blue dot. Each label has a trash icon to its right. At the bottom of the modal are 'キャンセル' (Cancel) and '保存' (Save) buttons. In the background, the main interface shows a table of hosts with columns for Host Name, Folder, Registration Date, and Status. Two hosts are listed, both under the '国内' label, with registration dates of 2025/05/13.

Point

接続先のHULFTを色ごとにグルーピングできるため、**業務要件に応じたHULFTの管理**をサポートします。

登録しているHULFTの転送状況を一つの画面で把握することが可能になりました。

HULFT10 API Gateway

Main

Settings

転送状況の確認

転送モニター

ホストの管理

すべてのホスト

ホストを登録

フォルダー

ラベル

国内

海外

転送モニター

すべて

転送中

完了

失敗

表示するフォルダーを選択

30日以内

転送ID、ファイルID、ホスト名

すべて解除

✓ 転送状況を取得しました(2/2ホスト)

取得分を追加表示

種別	ファイルID	ステータス	転送元	転送先	データサイズ (bytes)	終了日時	転送ID
↑ 配信	LOOPBACK	失敗 (333450,00802)	EC2AMA...	localhost	0/---	2025/09/1...	40803AFF...
↓ 集信	LOOPBACK	失敗 (108802,00000)	EC2AMA...	EC2AMA...	0/---	2025/09/1...	40803AFF...

2 件

「失敗」した転送のみを表示するなど、
転送状況に応じてフィルタリングが可能

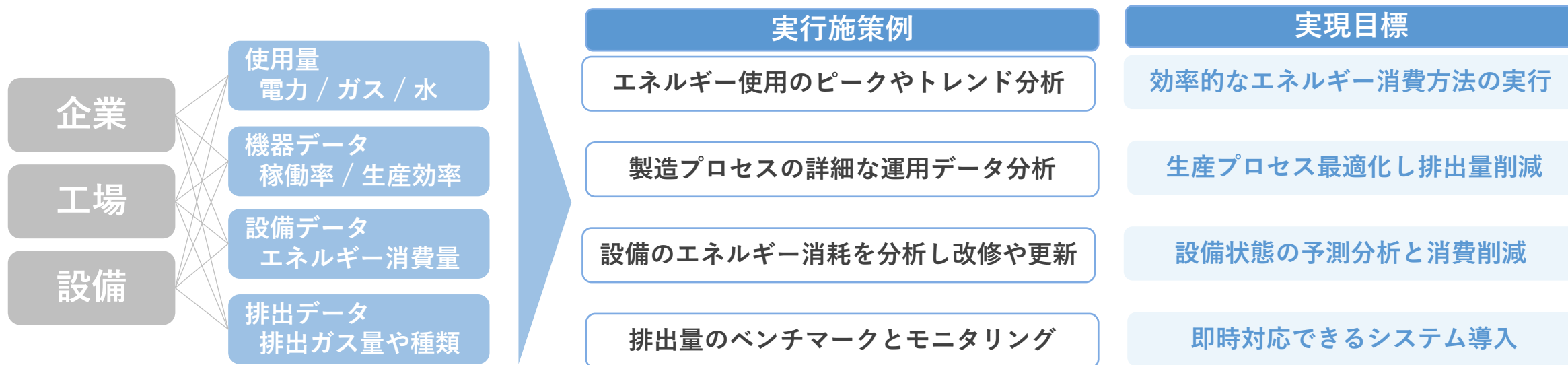
Point

トラブルが発生した際にその都度各HULFTを起動せずに状況を確認できるため、**トレーサビリティを向上**させます。

ユースケース (HULFT × HULFT10 API Gateway)

電力・エネルギー業界が遵守すべき環境保全対応

日本国内の民間企業や行政機関等では、グローバルな気候変動への対応策として、温室効果ガスの削減義務など、設置するビルや工場などの設備の維持・運用において環境面での規制が強化されています。



特に温室効果ガスの排出量が年間10万tを超える企業は、DX推進の中で排出量減少も意識する必要があります。

GX推進法

排出量取引年間10万t以上の企業は一定量以上の排出を行う事業者や業界に取引・支払い義務あり

温対法

一定量以上の排出を行う事業者は、排出量を国へ報告する義務あり

省エネ法

一定規模以上の事業者は、エネルギー使用の合理化の取り組みを国へ報告する義務あり

(参考) 事業者一覧(10万t以上)_温室効果ガス排出量算定・報告・公表

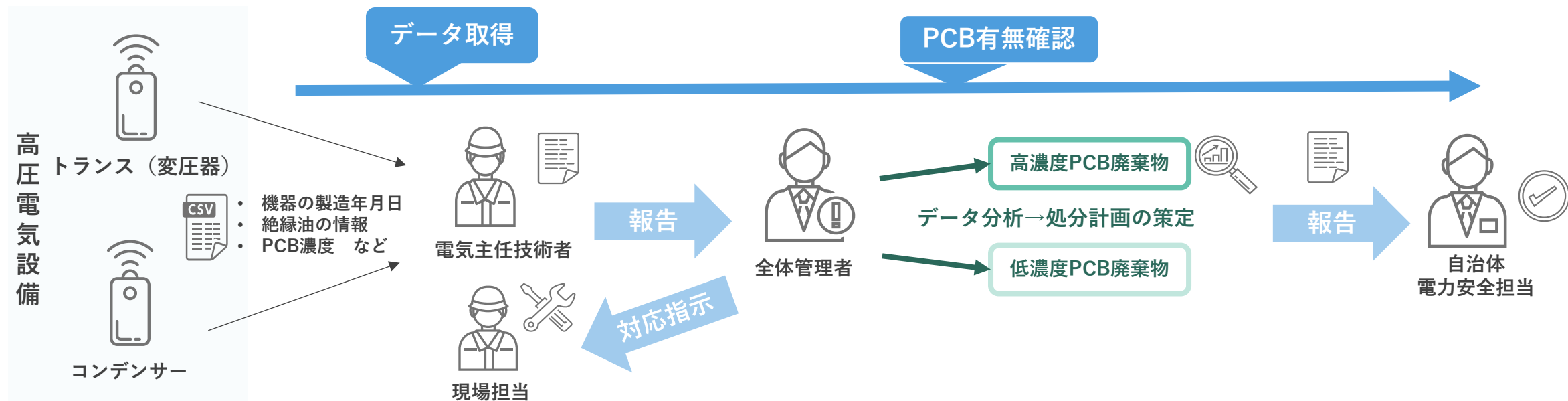
ユースケース（電力・エネルギー業界の環境保全対応）

国内の電力・エネルギー業界は、持続可能な環境保全を実現するために、業務的な改革と共に、「**技術的な仕組み作り**」を進めていく必要があります。

高濃度PCB含有電気工作物の取り扱い

電力供給や取引等に関する**電気事業法**では、公共の安全を確保しつつ環境保全を図ることが求められています。
絶縁性や科学的な**安定性**が評価されていたが、**毒性**と環境への蓄積が判明し**完全撤廃が必要**

高圧電気設備に使われていたPCBに対する **安全性評価基準の変化**



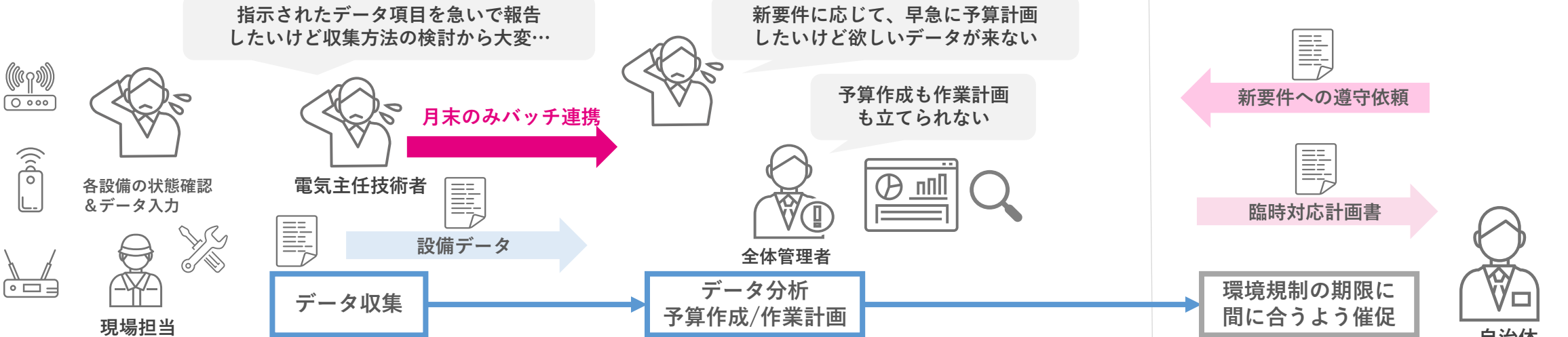
ユースケース（突発要件に迅速に対応できるデータ連携基盤）

電力設備の現場担当

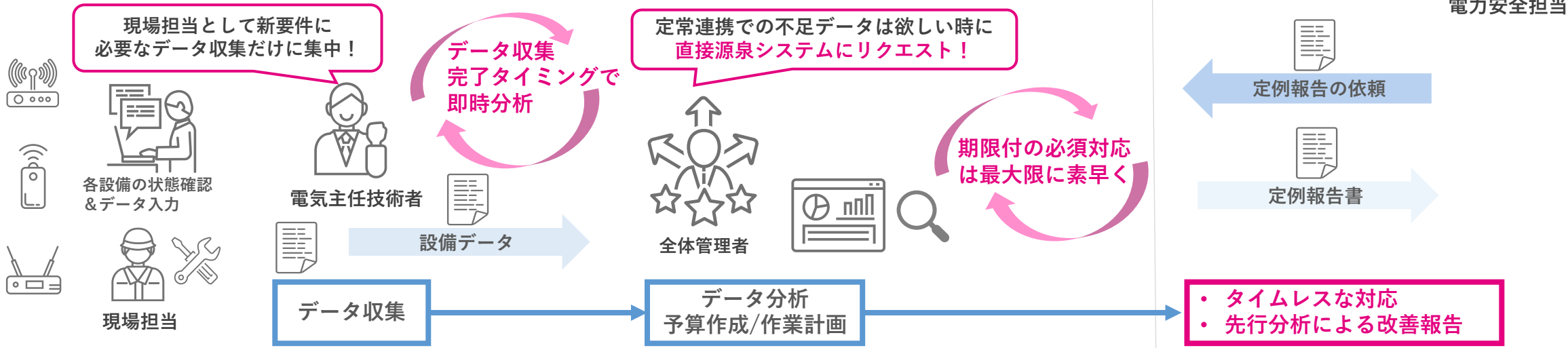
電力設備の管理者

自治体の保全担当

変更前

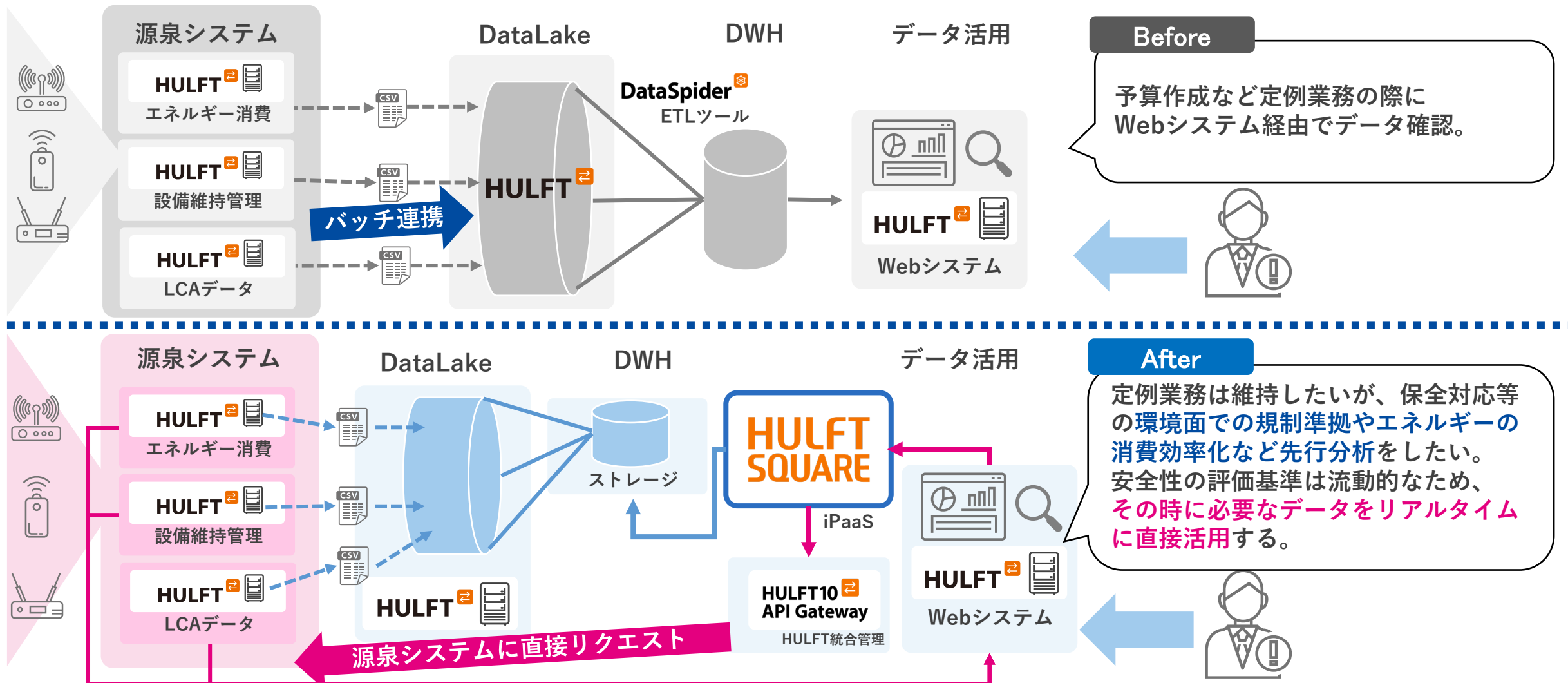


変更後



連携イメージ（突発要件に迅速に対応できるデータ連携基盤）

設備等のあらゆるデータを柔軟に活用していくために**オンデマンド連携**を実現。
将来的には、生成AI活用・LLM学習用のデータソースとして整備していける仕組みを。

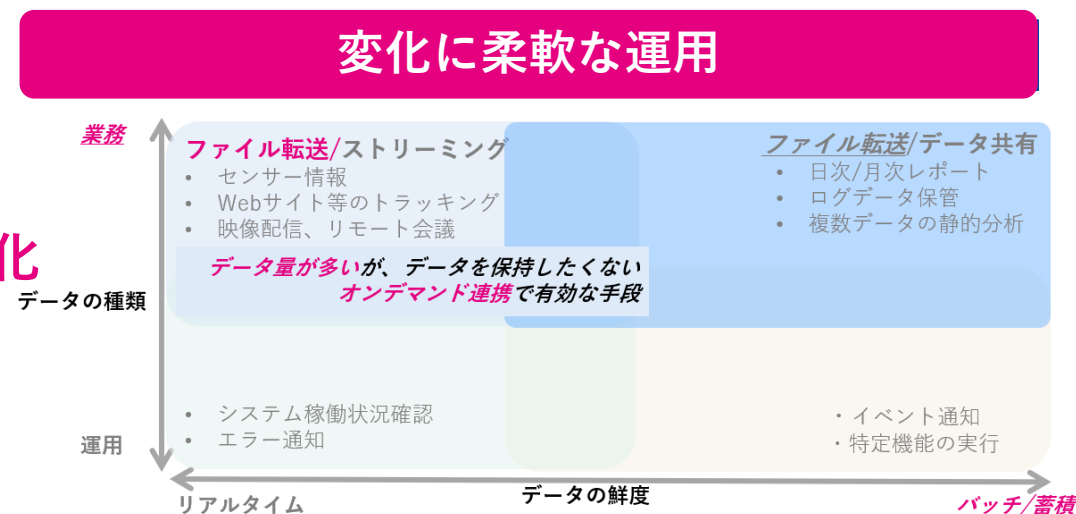
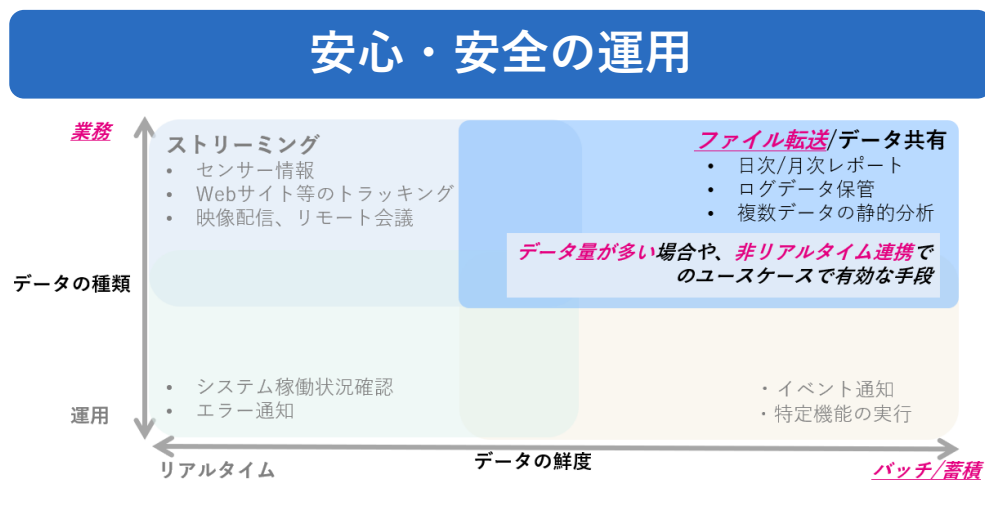


ユースケース（エネルギー業界における保全対応）

「バッチ型」から「オンデマンド型」にHULFTの価値をHULFT10 API Gatewayが変化させます。



Appendix : HULFT10 API Gatewayで変化するHULFTの提供価値



価値の変化

■ファイル連携ミドルウェアHULFTとは

<https://ent.box.com/s/abhvxagii8svnetfazcl9mvhdzpy0blt>

ファイルの扱い

- ・ バッチ型（＝非リアルタイム）
- ・ 大容量データ

データ利用

- ・ 日次で使うデータもある（例：銀行業務の開局時間内利用画面など）
- ・ 月次や年次でしか使わないデータもある（例：監査対応など）

ファイルの扱い

- ・ オンデマンド型（＝リアルタイム）
- ・ 大容量データ

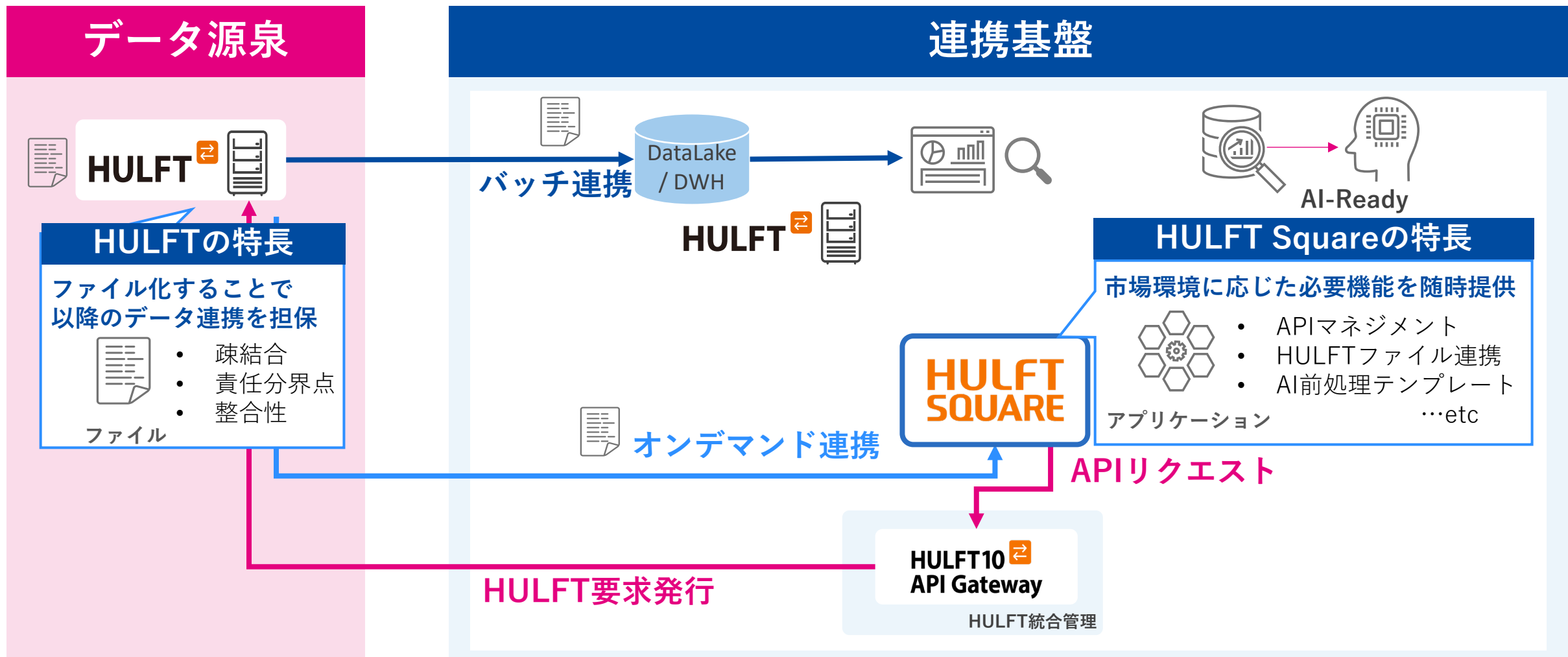
データ利用

- ・ トレーサビリティ等の報告（例：エネルギー業界の保全対応など）
- ・ 生成AI利用でのRAG連携（例：AIチャットボットなど）

目指したいデータ連携基盤（DataOpsの実現）

「バッチ」と「オンデマンド」で、データ分析プロセスの効率化を継続的に。

「品質」と「リアルタイム」を併用した仕組み作りで、「技術」と「市場」の変化に強くなる。



ユースケース（課題別）

ユースケース① API Gatewayで複数のHULFTを一元管理

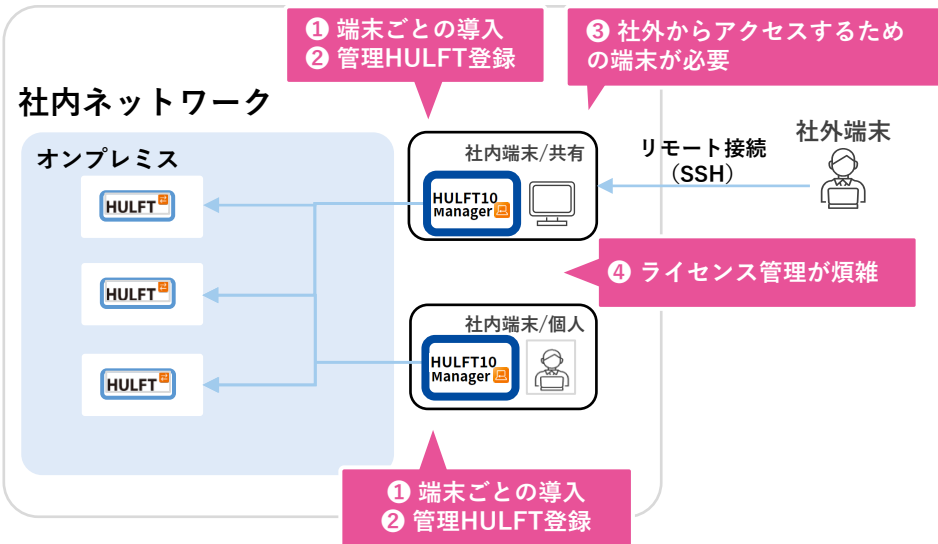
お客様の課題

- ① HULFT10 Managerはクライアント管理のため、端末ごとの配置が必要
- ② 各HULFT10 Managerに管理したいHULFTの登録が必要
- ③ 社外からアクセスできるように、社内端末の用意が必要
- ④ 複数台のHULFT10 Managerを導入している場合、ライセンス管理が煩雑

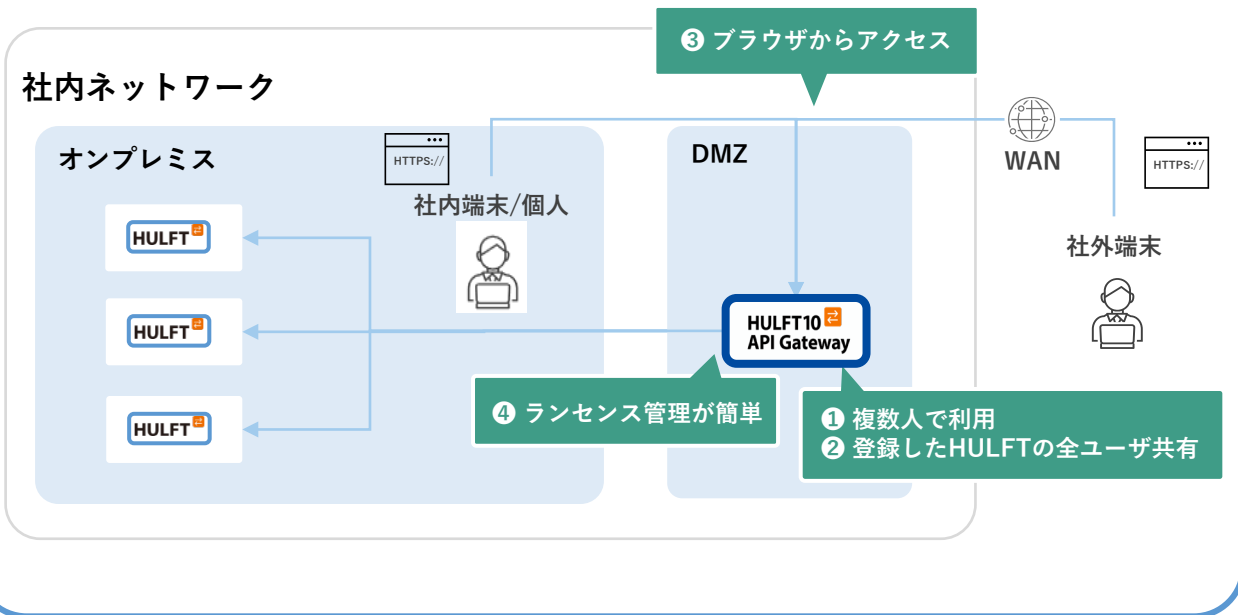
導入効果

- ① HULFT10 API Gateway一台設置するだけで、複数人で同時に利用可能
- ② 登録したHULFTは、全ユーザーで共有可能
- ③ どこにいても、ブラウザから簡単アクセス
- ④ HULFT10 API Gatewayのライセンス一つだけの管理

Before



After



ユースケース② API GatewayでHULFTのエラーを一括監視

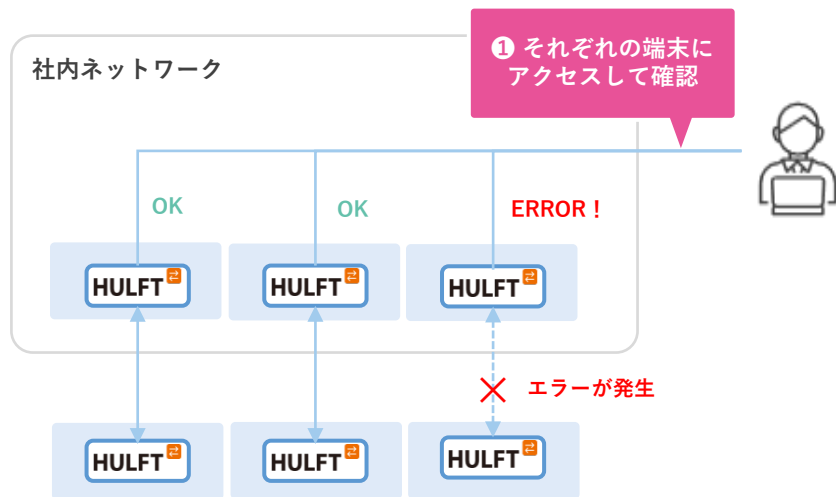
お客様の課題

- ① エラーが発生した場合にすぐに気づくことができない

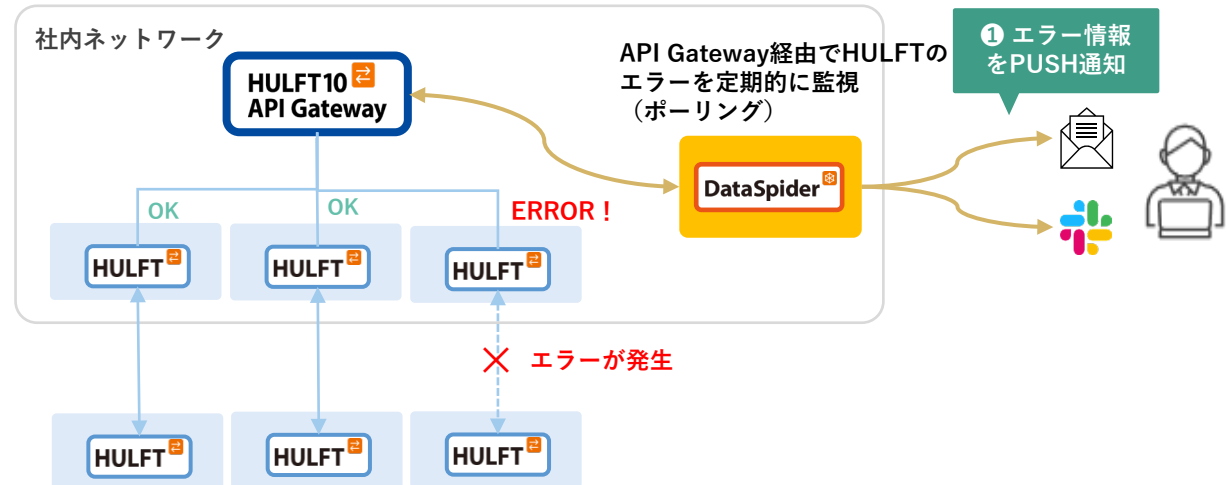
導入効果

- ① PUSH通知により、日常利用しているツールですぐに気づくことができる

Before



After



③ APIを利用した管理情報の変更履歴管理

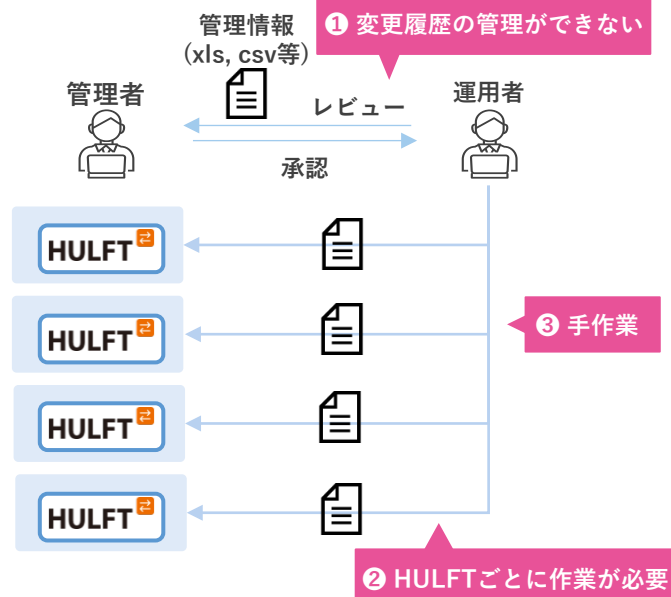
お客様の課題

- ① 管理情報の変更履歴が管理できない
- ② HULFTが数十、数百台あると作業工数がかさむ
- ③ 手作業の運用で効率が悪い、正確性に欠ける

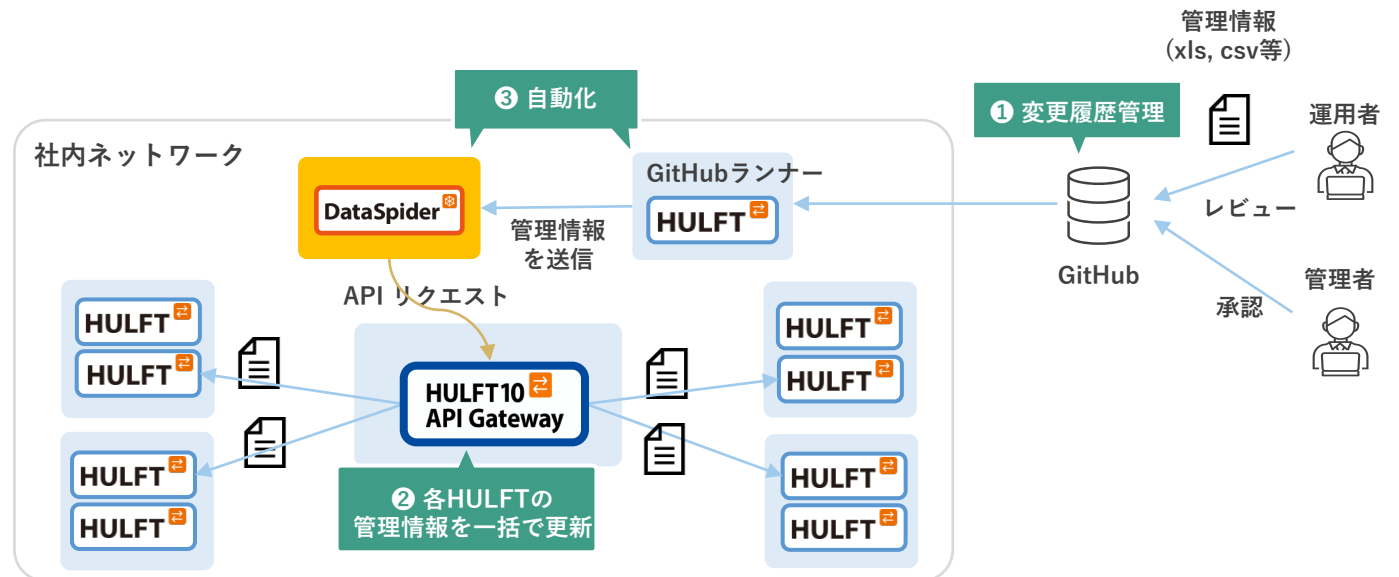
導入効果

- ① Githubでの変更履歴管理により、障害発生時等に任意の時点に戻ることができる
- ② 同じ管理情報を数十、数百台のHULFTに一括で登録可能
- ③ DataSpiderによるリクエストの作成・送信を自動化し、作業工数の削減と効率Up

Before



After



動作環境 / 管理保証

動作環境 (HULFT10 API Gateway)

■ 対応OS

- Windows 10 Pro(x64)
- Windows Server 2019 Standard (x64)
- Windows Server 2022 Standard (x64)
- RedHat Enterprise Linux 8 (x64)
- Windows 11 Pro(x64)
- Windows Server 2019 Datacenter (x64)
- Windows Server 2022 Datacenter (x64)
- RedHat Enterprise Linux 9 (x64)

■ 必須ソフトウェア

- PostgreSQL 16以降

■ 対応ブラウザ

- Google Chrome(x64) バージョン : 120.0.* 以降
- Microsoft Edge(x64) バージョン : 120.0.* 以降

※ 2024年9月時点開発中のため変更がある場合があります。

■ 管理保証（管理元）

項目	製品	HULFT10 for Windows/Linux zOS/IBMi/AIX	HULFT10 for Container Services Container Platform
管理元	HULFT10 Manager	管理保証	管理不可
	HULFT8 Manager	管理不可	
	HULFT10 API Gateway	管理保証	管理不可
	HULFT-HUB Ver.3(管理)	管理保証※1※2	管理不可

※1 HULFT-HUB Server Ver.3.9以上を保証します。
※2 HULFT10の新機能は管理設定できません。

■ 管理保証（管理先）

項目	製品	HULFT10 Manager	HULFT10 API Gateway
管理先	HULFT10 for Windows/Linux/AIX/IBMi/zOS	管理保証	
	HULFT10 for Container Services/Container Platform	管理不可	
	HULFT8	管理保証	管理保証 ※3
	HULFT7/HULFT7e	管理保証	管理不可
	HULFT6以下(含む for K)	管理不可	
	HULFT-SAN		

※3 Ver.8.4以降のみ対応。

Appendix

HULFT Managerとの機能比較 (1/3)

■ HULFT10 API Gateway本体

	機能	HULFT Manager	HULFT10 API Gateway
ホスト管理	転送状況	-	○
	ホスト管理	○	○
	ホストのコピー	○	×
	フォルダー	○	○
	ラベル	-	○
	接続テスト	○	○
設定	ユーザ管理	○	○
	ユーザグループ	○	×
	マッピング設定	○	×
	バージョン情報	○	○
	システム動作環境設定	○	×
	操作ログ	○	×
	管理情報エクスポート / インポート	○	×

HULFT Managerとの機能比較 (2/3)

■ HULFT管理画面

	機能	HULFT Manager	HULFT10 API Gateway
状況照会	転送状況一覧	○	○
	再配信待ち状況一覧	○	○
	今日のスケジュール	○	×
管理情報	配信管理情報	○	○
	集信管理情報	○	○
	ジョブ起動情報	○	○
	詳細ホスト情報	○	○
	転送グループ情報	○	○
	フォーマット情報	○	○
	マルチフォーマット情報	○	○
	メール連携情報	○	×
	スケジュール情報	○	×
	ファイルトリガ情報	○	×

HULFT Managerとの機能比較 (3/3)

■ HULFT管理画面

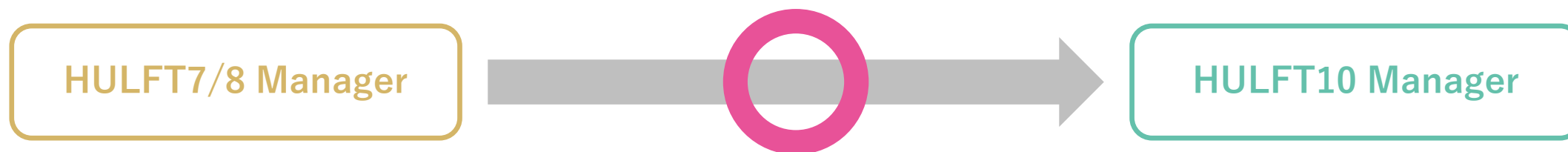
	機能	HULFT Manager	HULFT10 API Gateway
要求発行	配信要求	○	○
	再配信要求	○	×
	送信要求	○	○
	再送要求	○	×
	簡易転送	○	×
履歴	配信履歴	○	○
	集信履歴	○	○
	ジョブ履歴	○	○
	要求受付履歴	○	×
	スケジュール履歴	○	×
その他	バージョン情報	○	×
	システム動作環境設定	○	×

移行について

HULFT Managerの各種設定情報の移行は下記のとおりです。

※HULFT Managerバージョンアップ時の移行は可能ですがAPI Gatewayへの移行はできません。

■ 移行可能



■ 移行不可





< 免責条項 >

本資料の内容は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されているものであり、今後予告なしに変更されることがあります。よって本資料使用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願いいたします。

なお、本資料に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。